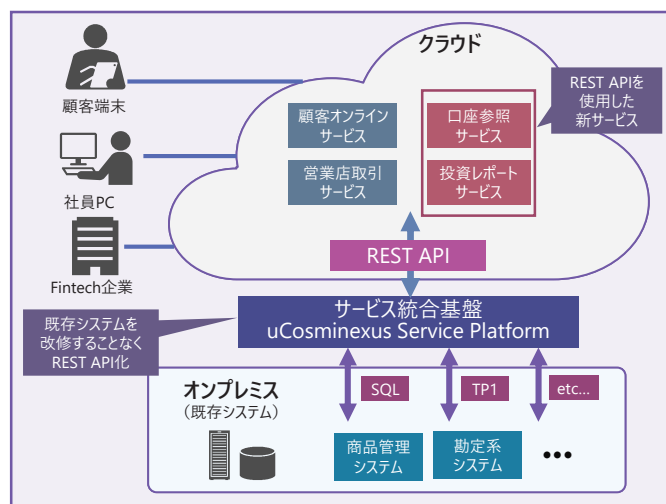


API統合・サービス連携を実現する製品です。基盤となるESBと、ビジネスプロセス実行機能を提供します。 ESB : Enterprise Service Bus

適用シーン例



クラウド分野での新技術やFinTechに代表される新たなビジネス領域でのニーズが次々と生まれる一方で、クラウドへの移行が困難なレガシーシステムも依然として存在し、クラウド上のシステムとの乖離が起きています。既存システムはそれぞれ独自のプロトコルで接続しなくてはならないため、クラウド上からの利用が煩雑になり、新たなニーズに即応するサービスの迅速な立ち上げが困難となっています。

uCosminexus Service Platformは、「既存システムのAPI化」でこの問題を解決します。既存システムに手を入れることなく、それらが独自に持つプロトコルをREST APIに変換。複数のプロトコルを使い分ける必要がなくなるためインタフェースが統一され、既存システムと連携した新たなサービスを迅速かつ容易に提供できます。

柔軟なシステム構築が可能

業務に必要な機能を再利用可能な「サービス」として作成し、サービスの組み合わせでシステムを構築します。レガシーなプロトコルを持つ既存システムを、ESBによってREST APIを備えたモダンなサービスとして利用できます。個々のサービスは独立しているため、柔軟なシステム構築が可能です。

●複数の既存システムやサービスを自動呼び出し

既存システムのサービス連携を実現するESBと、ビジネスプロセス実行機能（オーケストレーション）を装備。複数の既存システムやサービスを業務の流れに沿って連携させることができます。

●システム連携のための豊富なアダプタを提供

FTPアダプタやファイルアダプタ、HTTPアダプタ、コマンドアダプタなど、さまざまなシステムを連携させるための豊富なアダプタを提供しています。

HTTP : Hyper Text Transfer Protocol

運用が容易

●実行履歴データの活用

レスポンスタイム、ユーザー電文などを履歴として取得可能。サーバ障害でエラーが発生した場合、履歴を利用してエラーになったプロセスをその時点から再開できます。利用者がリクエストを再投入する必要はありません。

●開発・デバッグ環境の一括構築

開発・デバッグ環境は、機能ごとに構築する必要がなく、ダイアログ上でセットアップボタンをクリックするだけで一括構築できます。

●本番環境への一括移行

アダプタやビジネスプロセスを、開発・デバッグ環境から本番環境へ一括して移行できます。

充実した開発環境

サービス統合基盤による統合は、ビジネスプロセス定義、サービスアダプタ定義、データ変換定義という一連の流れで開発します。ビジネスプロセスのデバッグ機能や呼び出し先既存システムのエミュレート機能を提供するので、開発中のテストも容易です。

●GUIによるビジネスプロセス定義

画面上にアイコンを貼り付け、矢印で結んでビジネスプロセスを定義します。すべてGUI操作なので、BPEL言語仕様の知識は必要ありません。

●容易なデータ変換定義

受け渡すデータのフォーマット変換は、変換前後のデータ構造を定義し、データ要素ごとに線で結んでマッピングを定義するだけの簡単なGUI操作で定義できます。GUIによる定義のほか、COBOL登録集原文ファイルによるデータ構造定義の自動生成や、Excelで作成した定義ファイルとマッピング定義との相互変換など、大量のデータ項目を定義するためのデータ変換定義の一括生成機能も提供しています。変換時に値を加工する変換処理部品は、標準提供のものに加え、ユーザーが独自に定義した部品も使用できます。

クラウドへの対応

Amazon EC2や、Microsoft Azure Platformでの運用をサポートしています。開発から実運用までクラウド上で実現できるので、スピーディーにサービスを開発できます。また、DBアダプタの接続先DBMSとして、Amazon Aurora PostgreSQL、Amazon Aurora MySQLなどのクラウドデータベースが使用できます。

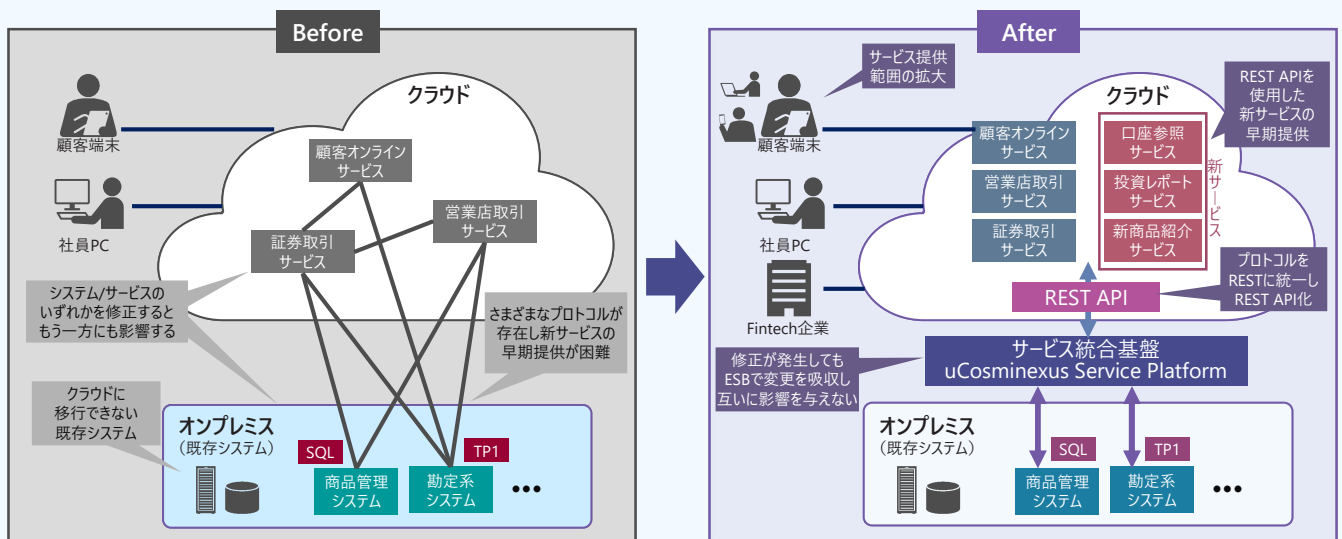
既存システムとクラウドを連携し、スムーズなサービス展開を可能に

近年クラウドサービスの利用が増え続けていますが、すべてのシステムがクラウドに移行できるわけではありません。新しいサービスとレガシーなシステムの連携は複雑なため、新たなニーズに応えるサービスの開発・提供に時間がかかってしまいます。

Cosminexusでは、ESB^{*2}を活用して既存システムをREST API経由で柔軟に接続。ESBの処理フロー・データ変換・プロトコル変換により、システム側とサービス側の修正が発生してもESBで変更を吸収し、互いに影響を与えない疎結合な連携を実現します。これにより、クラウドサービスとのスムーズな統合が可能になります。

*2 Enterprise Service Bus。企業などで稼働しているさまざまな種類の情報システムやソフトウェアを連携させる基盤。

証券業界におけるFintechの新サービス開発・提供例



uCosminexus Service Platformでは、Java SE/EE導入元であるOracle社との提携にもとづいた表記をしています。

•uCosminexus Service Platform、uCosminexus Service Architect、uCosminexus Application Server、uCosminexus Developerは、経済産業省が2003年度から3年間実施した「ビジネスグリッドコンピューティングプロジェクト」の技術開発の成果を含みます。

•Amazon Web Services、AWS、Powered by AWS ロゴ、Amazon Elastic Compute Cloud、Amazon EC2、Amazon RDSは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

•Microsoft、Excel、PowerPoint、VisioおよびWindowsは、マイクロソフト 企業グループの商標です。

•Oracle®、Java及びMySQLは、Oracle、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

•その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

株式会社 日立製作所

マネージド&プラットフォーム サービス事業部

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地 〒244-0817
Tel: +81-45-881-7161

Printed in 2026.02
Copyright © Hitachi, Ltd.
All rights reserved.